

技能五輪で銀賞

とび職 県代表 宮本さん (栗栖工業) が快挙

ものづくりの未来を担う第50回技能五輪全国大会(長野技能五輪、厚生労働省など主催)で、とび職の県代表として出場した栗栖工業(栗栖龍男社長、中央)の上位入賞は初の快挙(3丁目)の宮本凌さんという。

大会は10月26日から29日まで、長野県諏訪市の諏訪湖イベントひろばで開催された。

想定していた以上の難しい課題に「頭の中が一瞬真っ白になった」が、持ち前の気力と根性で頑張った。

上司からは「元気があふれ過ぎる面もあるが、勤務態度は真面目」と信頼されている。1

級技能士の資格を取るのが「当面の目標」という。

同社は社員教育の環境として、鳶木遣(とびきやり)、纏(まとい)振り、はし(し)乗りの伝統文化を研究し、伝承している。

栗栖社長は「若い人たちの目標となり、とび職の社会的地位の向上と業界の活性化につながることを、今後の活躍に期待した。(岩村)



銀メダルを披露する宮本さん(栗栖工業)

建造物の基礎を造る仕事のスケールの大きさに憧れ、入社して4年目。全国大会の挑戦は初めて。